

小さい者の一人が減びることは天にいますあなたがたの父のみ心ではない。



社会福祉法人
小羊学園

〒433-8105
静岡県浜松市北区三方原町 2709-12
電話：053-414-1833 FAX：053-438-7707
E-mail kohitsuji@imix.or.jp
H.P http://www.kohitsuji.or.jp/

発行人：稲松 義人
印刷所：聖隷サービス(有)
定 価：一部 30円

2009年12月20日
第 320 号

あなたの喜ぶ顔を見たい

：クリスマスとお正月：

理事長 稲松 義人

2009年のクリスマスを迎えるにあたって喜びのご挨拶を申し上げます。皆様にはこの1年どのようにお過ごしになられたでしょうか。小羊学園の各施設では12月を迎え、それぞれの1年のあゆみを振り返りつつクリスマスの準備をしています。たぶんこのつのぶえがお手元に届けられる前後に、それぞれの施設でクリスマス会が催されていることと思います。

この1年も多くの皆様が、様々なかたちで私たちの働きをご支援くださったことに心から感謝し、謹んでお礼を申し上げます。

昨年の秋、念願の小羊学園児童寮・青年寮の改築を三方原スクエアの竣工というかたちで実現し、私自身は4月から浜松市南区の通所事業マルカートとドルチェの施設長に着任しました。理事長として、小羊学園を支える会の事務局のある三方原スクエアや法人本部事務局がある支援センターわかぎへも度々行き来する忙しさもありますが、初めて入所施設ではない事業所に身をおいて、地域福祉のあり方を考え直すよい経験をいたしました。地域の中では様々な問題が複雑に絡み合い、そこ

に生きる人たちの日々の暮らしの中に、私たちのなすべきことが多くあることを教えられました。

聖書の中でイエス・キリストは、町や村に人を遣わすにあたって、「どこかの家に入ったら、まず『この家に平和があるように』と一言いなさい。」と教えます。私たちが地域に出ていくときに、「そこに生きる人たちに『平和があるように』というメッセージを伝えなければならぬのではないかと思わされています。別の言い方をすれば、「たとえどんな境遇にあっても、心を安らかに暮らすことができますように」という思いを伝えなければならぬ」ということではないかと思えます。

日常的な私たちの仕事は、具体的にいうと身辺介護であったり、作業指導であったり、余暇支援であったりします。もちろん質の高い介護や適切な助言をしなければならぬのですが、より大切なのは、それらのことを通して、利用者本人やご家族に安心してもらうようであればならないということだろうと思います。小羊学園では、安心してきているのかどうかを利用者自身が言葉で伝えることができないので、一人ひとりの表情や態度を頼りにしながら、自分たちの支援を振り返ります。利用者に見られるかどうかは大切なチェックポイントですし、満足そうな表情を感じることができ、大きな支援する側の私たちにとっての大きな

励ましであり、安心につながります。

キリスト教会に関係する社会福祉事業団体が、教派を超えて交わりを深めるために、10数年前から隔年で催されるようになった「21世紀キリスト教会福祉実践会議」という研修会があります。毎回、計画にあたっては、まず各団体の代表者が集まりテーマを決めるのですが、来年予定されている第7回大会のテーマは、「喜ぶ顔を見たい：ミッションの意味と問う」とされました。支援を必要としている人たちの「喜ぶ顔を見たい」ということが、支援をする自分たちの働きの原点であり、使命なのだと思いかからず。

クリスマスやお正月というと、子どもたちにとっては、どんなプレゼントをもらえるのか、いくらお年玉がもらえるのかということが関心事です。しかし、プレゼントする側にとっては、「喜ぶ顔を見たい」という気持ちが原点ではないでしょうか。そしてそれは「平和があるように」という気持ちを伝えることと同じではないかと思えます。「あなたを大切に思っていますよ」という気持ちを伝えることによって、相手の心が満たされ、生きる力になることを切に祈るものです。

クリスマス、そして新年。皆さまには、あなたの大切な人の喜ぶ顔を見ることが出来ますように。そしてともに「平和」に満たされますように、心よりお祈りいたします。

小羊学園のアドベント

クリスマス約4週間前から、教会節では待降節(アドベント)が始まり、リースやクララツツリーなどを準備し、イエスキリストのご誕生を心待ちにします。法人の施設でも、それぞれが特色のある飾り付けや行事を行っていますので、紹介します。



三方原スクエア

11月頃になると、利用者さんのクリスマスの歌声が響きます。そんな三方原スクエアでは2回目のクリスマス



迎えます。アドベントを過ぎると交流スペースにはツリーが飾られ、ユニットのお部屋もクリスマス一色になります。クリスマス礼拝の数日前に、キャンドルサービスが行われます。スクエアになってからは、遠州栄光教会の三方原会堂で、イエス様がお生まれになるまでのお話しを、教会の聖歌隊のみなさんと讃美します。その後ケーキを頂いてクリスマスを待ち望みます。クリスマス礼拝は、保護者、地域の方々、旧職員などいつも支えて下さる人たちと共に礼拝し、お祝いします。その後、各ユニットで食事をし、サンタクロースがやってくるのを待ちます。

(出水 里美)

支援センター わかぎ

わかぎでは、クリスマスが近づくと、各作業班ごとで制作している授産製品(折り染め・さをり・紙すき)を使って、装飾作りをしてきました。廊下の天井や食堂に飾ったり、玄関先にはツリーやデコレーションを飾り付けます。また、ウッドデッキの壁にLEDライトのイルミネーションを飾り、クリスマスムードを高めています。ここ数年は、手作りリースを作っていないのですが、今年久しぶりに作り、各

棟のリビングに飾りました。

また職員が、祝会の出し物練習をしていると、ハセさんやマサコさんが飛び入りで参加して、一緒に楽しめます。クリスマス礼拝は毎月の教会学校に合わせて第3水曜日に行います。そのため少し早めのクリスマス会(今年は16日)となります。24日には利用者のみなさんと一緒に浜北教会に出かけ、聖夜礼拝に参加して、イエス様のご降誕をお祝いします。

(鈴木 圭子)



小羊デイケアホーム

デイケアホームはアドベントに入ると一気にクリスマスモードに入り、まず装飾に使用するための藤のツルやサルトリイバラ、柊、ウメモドキ、ヒノキの葉など自然の材料をみんなで山へ採取しに行くところから始まります。そのような材料を基に施設内の壁には大小いくつものリースやクッキーで作ったベルや星型の飾りなどが多く飾られます。活動の時間もその準備に多くを



割き、それらの装飾を一緒に作ったり、毎年活動で作った製作品を家庭に持ち帰ったりもします。これまでリースやタペストリーなど作りましたが保護者からも喜ばれています。今年は星やハートの形をしたキャンドルを製作中。はたして上手にできるでしょうか？ツリーに関してはデイケアのホールは天井が高いため3m近くの大きなツリーを置き、利用者人数分のリングゴやドイツ風の飾り(蔓の飾りや星など)が飾られます。このようにして1ヶ月間利用者と一緒に心を込めてクリスマスのための準備をし、当日は保護者やボランティアなど多くの方々と共にお祝いします。

(出水 巖生)



マルカート

マルカートのクリスマスは、今年で5年目を迎えます。毎年、10月頃になるとクリスマスに向けての準備が始まります。まず、ミーティングで、今年のクリスマスはどうお祝いするのか、

話し合われます。自分の家族へのプレゼント、クリスマス会へ来て下さるお客様へのプレゼント、マルカート内の装飾や、祝会で出される食べ物等、話



し合われる事は沢山あり、一気にクリスマスを迎える準備で忙しくなります。マルカートのクリスマス装飾は、マルカートのクリスマスシンボルとなるタペストリーや、キャンドル、アドベントのお菓子をを入れる靴下、天使やリングのオーナメント等、マルカートの初めてのクリスマスから、毎年少しずつ全てハンドメイドで作ってきました。また、祝会で出されるケーキやクッキーも、活動の中でみんなで作ります。

12月になると、本物のリングを飾った大きなツリーや、自然のヒノキやハンの実やウメモドキ等でマルカートの窓枠が飾られ、クリスマスを迎える気持ちが高まります。毎日、朝の会でアドベントカレンダーを捲り、アドベントのお菓子を頂いて、クリスマスを迎えます。

マルカートの5年間の歩みと共に、毎年皆で作って貯めてきたクリスマス装飾類は、宝物となっています。そんな手作りの楽しいクリスマスも皆でお祝い出来る事を心待ちにしています。

(山村 結香)

オリーブの樹



今年11月半ばから食堂や休憩室が華やかになり始めました。

食堂にあるクリスマスツリーは、利用者みなさんがモールやオーナメントを使ってデコレーションしてくれました。また、わかなの利用者が描いたイラストもきれいにラミネートして飾り、昨年とは違った暖かみのあるツリー



が完成しました。

12月22日(火)のクリスマス会は、浜北教会の牧師による礼拝から始まります。その後、「ケーキをおやつにティータイム&サンタ登場!」やプレゼントタイムなど予定しています。

昼食はクリスマスランチを頂き、午後は「はまきた童謡会」の方々によるクリスマスコンサートが予定されています。

オリーブの樹の利用者はもちろんのこと、今年にはわかなの利用者も加わり、例年以上に賑やかなクリスマス会になります。

(河合 香里)

つばさ静岡



つばさ静岡では開所して5度目のクリスマスを迎えようとしています。

今年も午前は、日本基督教団静岡草深教会の小出牧師をお迎えして礼拝や職員によるアトラクション、午後は、各ゾーンで利用者とそのご家族として職員との愛餐会と、心温まる一日を過ごせるよう企画をしています。

そして、クリスマス当日を心静かに待つ準備として、第一アドベントの日に点灯式を行いました。玄関ホールには約4メートルの大きなクリスマスツリーを飾り、讃美歌を歌いながら、克蘭ツのキャンドルに利用者さんと職員が火を灯していきます。本来ならば毎週一本ずつキャンドルに火を灯し



ていきますが、つばさ静岡ではこの日に一気に4本のキャンドルに火を灯します。各ゾーンを代表する4名の利用者さんと職員の持つローソクの火が克蘭ツのキャンドルにゆっくりと移っていく、静かな時間は何ともいえず感動的です。ミホさんは真剣な表情で、職員の手を借りずにキャンドルに火をつけようとし、また、レイ君は職員の持つローソクの火をフーフーと吹き消そうとしたりと、それぞれが色んな表情を見せてくれました。

最後においのりをして、讃美歌を歌いながら静かにクリスマスを待つアドベントの一日を過ごしました。

(佐野 公一)

ケアホーム研修を開催しました

11月17日に浜北森林公園森の家で、小羊学園のケアホーム研修を行いました。法人には、三方原地区・浜北地区に5拠点のケアホーム（共同生活介護）があり、ケアホームに従事する職員13名が出席しました。

ケアホーム職員の合同研修は今回が初めてです。日常業務は1人で支援することが多く、ナイトケアを中心とした業務なので、支援職員が全員集まれる機会はなかなか持てませんでした。

今回の研修目的は、法人内にある、互いの事業所の状況を知り合い、その中で出された課題を整理し、自らの仕事に反映することです。はじめに各事業所の概要や利用者さんの状況を報告しました。同じケアホームでありながら、利用者さんの障害程度や住環境、また地域の特徴によって、暮らし方は大きく違うことがはつきりしました。また、入所施設を離れ、地域で近隣の方々とともに暮らすことの大切さや、住民の方との交流の中で、互いを理解しあうことの大切さを確認することができました。細江町にある、「ひだまり」では、近隣のお子さんと一緒におやつ作りを行い交流を深めている事例も紹介されました。

議論を深めていく中で、もう一つ大きな課題と挙げられたのが、支援方法など情報の共有です。日常的には、職



員1人で支援にあたるので、利用者さんの状況を把握するための引継ぎが重要になります。健康状況や事務連絡は勿論、関わり方や気になる動きなどを、次に業務する職員に、分かりやすく確

— 小羊写真集 ⑤ —

寮の窓際に腰掛ける高桑先生。絵本の読み聞かせでしょうか、そこに、集まる子どもたちの目線は、本に釘付けです。ちょっと離れたところで、その様子を伺う女の子。こんな日常があって、毎日が繰り返されて、子どもたちは成長し、大人との信頼関係を築いていったのでしょうか。



一緒に過ごしませんか？

ケアホームでは、週末に買い物などに一緒に出かけてくださるボランティアを募集しています。ご興味のある方は下記までご連絡下さい。

支援センターわかぎ 古橋
TEL：587-2614

実に伝達する手段として、どんな方法があるのか議論をしました。1日を通しての研修でしたが、多くの意見交換がなされ、まだまだ議論仕切れない課題もたくさん残りました。改めて機会を設け、ケアホームで生活する利用者のみなさんが、楽しく充実した生活が送れるように、支援する職員で話し合っていきたいと考えます。

小羊学園を支える会

2009年度寄付金報告

11月受付分 1,002,981円 (37件)
累 計 4,287,804円 (269件)

小羊学園への寄付金振込み先

(口座名義)「小羊学園を支える会」
郵便振替口座 00890-4-45415
りそな銀行浜松支店 (普通) 040005
静岡銀行細江支店 (普通) 043483

ご希望があれば、郵便振替用紙をお送りします。下記へご連絡ください。

小羊学園を支える会事務局 (鈴木)
三方原スクエア内 ☎053-414-1833

編集後記

12月に入り法人内の各施設もクリスマスムード一色になってきました。12月は旧暦では「師走」と呼ばれていますが、その由来は坊主(師には、僧侶の意味もある)が走り回るほど忙しくなるからと、言われています。確かに僧侶も忙しいのでしようが、それ以上にキリスト教会の牧師は走りまわっているでしょう。法人内の各施設でも、クリスマス前後にほぼ毎日のようにクリスマス礼拝が行われますが、教会牧師が執り行ってくださいます。

これから、本格的な寒さが到来いたします。お身体をいたわり、風邪などひかれないようご自愛下さい。
メリークリスマス!